

山形県感染症発生動向調査 週報

2025年 第41週
(2025年10月6日～2025年10月12日) 2025年10月15日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
TEL.023-627-1109

<定点把握感染症>

定 点 種 別	感 染 症	全 国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
		第40週	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第1～41週
感 急 染 性 呼 吸 定 点 器	内科・小児科 (定点医療機関数)		(39)			(7)			(10)			(4)			(6)			(12)			
	インフルエンザ	6013	9	26	Δ	1	6	Δ	2	3	▲				5	14	▲	1	3	▲	6749
		1.56	0.23	0.67		0.14	0.86		0.20	0.30					0.83	2.33		0.08	0.25		
小 児 科 定 点	新型コロナウイルス 感染症(COVID-19)	18587	162	140	▼	25	29	Δ	35	50	Δ	19	9	▼	42	22	▼	41	30	▼	5974
		4.82	4.15	3.59		3.57	4.14		3.50	5.00		4.75	2.25		7.00	3.67		3.42	2.50		
	(定点医療機関数)		(26)			(6)			(7)			(3)			(3)			(7)			
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	3631	55	55		8	8		16	17	▲				17	19	▲	14	11	▽	1272
		1.55	2.12	2.12		1.33	1.33		2.29	2.43					5.67	6.33		2.00	1.57		
	咽頭結膜熱	589	5	9	▲	1	4	▲	1	2	Δ				3	3					454
		0.25	0.19	0.35		0.17	0.67		0.14	0.29					1.00	1.00					
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	4245	45	41	▽	16	19	▲	16	12	▽				12	5	▼	1	5	Δ	2378
		1.81	1.73	1.58		2.67	3.17		2.29	1.71					4.00	1.67		0.14	0.71		
	感染性胃腸炎	9506	123	104	▽	28	24	▼	45	29	▽	5	4	▼	26	23	▽	19	24	Δ	5715
		4.05	4.73	4.00		4.67	4.00		6.43	4.14		1.67	1.33		8.67	7.67		2.71	3.43		
	水痘	432	3	5	▲	2	2		1	1			1	Δ					1		400
		0.18	0.12	0.19		0.33	0.33		0.14	0.14			0.33						0.14	Δ	
	手足口病	913	9	6	▽	4	3	▽	5	2	▽								1	Δ	370
		0.39	0.35	0.23		0.67	0.50		0.71	0.29									0.14		
眼 科 定 点	伝染性紅斑	2898	101	91	▽	11	11		18	14	▽	31	36	▲	20	15	▽	21	15	▼	3835
		1.23	◎3.88	◎3.50		◎1.83	◎1.83		◎2.57	◎2.00		◎10.33	◎12.00		◎6.67	◎5.00		◎3.00	◎2.14		
	突発性発しん	677	8	8		2	2		1	2	Δ	1	1		4	3	▽				385
		0.29	0.31	0.31		0.33	0.33		0.14	0.29		0.33	0.33		1.33	1.00					
	ヘルパンギーナ	1258	40	51	Δ	9	28	Δ	25	18	▽	1		▼	1	4	Δ	4	1	▼	619
		0.54	1.54	1.96		1.50	4.67		3.57	2.57		0.33			0.33	1.33		0.57	0.14		
	流行性耳下腺炎	115		1	Δ		1	Δ													39
		0.05		0.04			0.17														
	(定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
	急性出血性結膜炎	16																			0
		0.02																			
基 幹 定 点	流行性角結膜炎	705	12	28	▲		1	Δ	12	27	▲										181
		1.01	1.50	3.50			1.00		4.00	◎9.00											
	(定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)																				28
	クラミジア肺炎	4																			0
		0.01																			
	マイコプラズマ肺炎	653	15	13	▼	6	8	Δ				3	1	▽	1	1		5	3	▽	332
		1.36	1.50	1.30		3.00	4.00					3.00	1.00		0.50	0.50		1.67	1.00		
	細菌性髄膜炎	14																			2
		0.03																			
	無菌性髄膜炎	24																			7
		0.05																			

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、Δ:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<通 信 欄>

〇トピックスでは、「伝染性紅斑」について掲載しています。

警報・注意報の基準値(参考値)

感 染 症	警報レベル		注意報 レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、
警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

種 別 点	感 染 症	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合 計
急性 呼吸 器 感 染 症 定 点	内科・小児科	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	26
	インフルエンザ					2		1		3		6	13			
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)		1													
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
		1	3	6	4	3	1		3		9	6	18	7	6	
小児 科 定 点	RSウイルス感染症	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									140
		17	14	8	11	14	9									
	RSウイルス感染症	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	55
	咽頭結膜熱	1	7	21	14	8	3	1								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4		1	1	1	1		1					
	感染性胃腸炎					2	5	5	2	5	9	8	4		1	
	水痘		6	23	7	13	9	10	13	7	1	1	11		3	
	手足口病		1		1		1		1			1				
	伝染性紅斑		1	3	1	1										
	突発性発しん			2	9	13	18	17	14	10	3	2	2		1	
	ヘルパンギーナ		3	4	1											
	流行性耳下腺炎		6	13	10	4	9	6	1	1			1			
	流行性耳下腺炎								1							1

< 全数把握感染症 >

感 染 症	報 告 数					備 考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	1				1	
腸管出血性大腸菌感染症	2					型別:O157 VT2(2)
百日咳	2	3		3	2	第40週追加報告(1)、ワクチン接種歴:4回(8)、不明(2)

< トピックス >

伝染性紅斑

第41週における伝染性紅斑の県定点当たり報告数は3.50でした。
年齢別では2歳～7歳の報告が多くなっています(図1)。第15週から27週
連続で警報レベルが続いています(図2)ので引き続き注意しましょう。

年齢	報告数
～5ヶ月	0
～11ヶ月	0
1歳	2
2歳	9
3歳	12
4歳	18
5歳	15
6歳	12
7歳	9
8歳	3
9歳	2
10～14歳	2
15～19歳	0
20歳～	1

図1 伝染性紅斑 年齢別報告数(第41週)

週	山形県	全国(2025年)	2023年	2024年
1	0.5	0.5	0.5	0.5
3	0.5	0.5	0.5	0.5
5	0.5	0.5	0.5	0.5
7	0.5	0.5	0.5	0.5
9	0.5	0.5	0.5	0.5
11	0.5	0.5	0.5	0.5
13	0.5	0.5	0.5	0.5
15	0.5	0.5	0.5	0.5
17	0.5	0.5	0.5	0.5
19	0.5	0.5	0.5	0.5
21	0.5	0.5	0.5	0.5
23	0.5	0.5	0.5	0.5
25	0.5	0.5	0.5	0.5
27	0.5	0.5	0.5	0.5
29	0.5	0.5	0.5	0.5
31	0.5	0.5	0.5	0.5
33	0.5	0.5	0.5	0.5
35	0.5	0.5	0.5	0.5
37	0.5	0.5	0.5	0.5
39	0.5	0.5	0.5	0.5
41	0.5	0.5	0.5	0.5
43	0.5	0.5	0.5	0.5
45	0.5	0.5	0.5	0.5
47	0.5	0.5	0.5	0.5
49	0.5	0.5	0.5	0.5
51	0.5	0.5	0.5	0.5

図2 伝染性紅斑 山形県・全国定点当たり報告数の推移

【伝染性紅斑とは】

伝染性紅斑はヒトパルボウイルスB19による感染症で、
小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。
両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と
呼ばれることもあります。

【感染経路・症状】

感染経路は飛まつ感染や接触感染が知られています。
約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、
両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん(紅斑)が現れます。続いて、
体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは
1週間程度で消失します。

【治療・予防】

特別な治療法や予防ワクチンはありません。基本的には軽い症状の病気
のため、経過観察を含め、症状に応じた治療となります。
紅斑が出ている時期にはほとんど感染力がないため、かぜ症状のある人
はこまめな手洗い、咳やくしゃみをする時には口と鼻をハンカチ等で
おおうなどの「咳エチケット」を心がけることが大切です。

【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

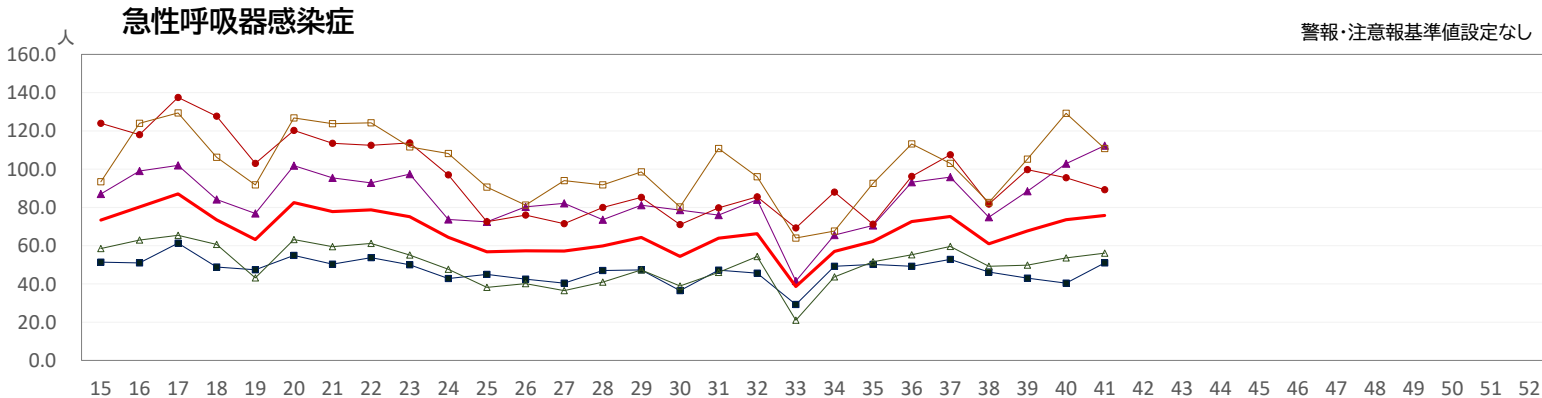
感 染 症	全国	山 形 県				山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県)
	第40週	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減	第15～41週	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)				(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	226261	2795	2880	▲	720	786	▲	404	510	Δ	382	357	▼	646	554	▽	643	673	▲	68779	
	58.86	73.55	75.79		102.86	112.29		40.40	51.00		95.50	89.25		129.20	110.80		53.58	56.08			

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、Δ:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県												
	第41週												
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計
急性呼吸器感染症	207	1171	834	292	63	27	66	59	40	40	43	38	2880

< 定点当たり報告数グラフ >



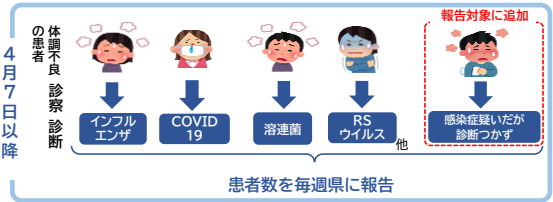
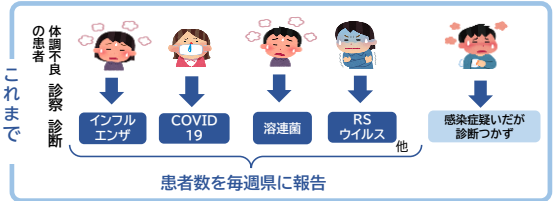
急性呼吸器感染症(ARI)
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは
厚生労働省HPへ ▶▶▶

